



兵庫県  
Hyogo Prefecture

登録締切

3月12日

参加対象限定



みんなで考えてみよう  
災害への備え

# 防災ジュニアリーダー 実践強化セミナー

最新防災教育コンテンツHIRAQで学ぶ対応力

特別講演：神戸学院大学現代社会学部社会防災学科  
教授 船木 伸江

2026年3月18日 水 14:00-16:00

三井住友海上神戸ビル10階 大会議室（元町駅徒歩6分）  
神戸市中央区栄町通1-1-18

お問合せ 電話：078-362-3892 メール：renkei@pref.hyogo.lg.jp

主催：兵庫県・三井住友海上火災保険株式会社（兵庫支店）

参加申込はこちらよりお願いします



# 開催案内

兵庫県では、三井住友海上火災保険株式会社と連携し、今後、県内で防災・減災に向け様々な取組を協働して行うことを予定しています。

その取組の第一弾として、同社が2025年3月11日にリリースした防災教育コンテンツ「HIRAQ-ヒラク-」（京都大学防災研究所 矢守教授 制作協力）を用いたワークショップ型の研修会を下記のとおり初開催することとしました。

この防災教育コンテンツは、2026年度中に兵庫県内の各地域の教育事務所に複数配備し、貸出により各校の授業等で使用できる教材となります。今回のセミナーはその授業シミュレーションも兼ねて実施するものとなります。

防災教育の教材を用いて、どのように授業を進めると防災・減災に対する重要な気づきをより得ることができるか、地域防災や防災教育を学ぶ大学生・大学院生にとっても重要なテーマであると考えます。

参加対象者限定で募集を行っています。ぜひご参加をお待ちしています。

- 1 研修会名： 防災ジュニアリーダー実践強化セミナー ～HIRAQで学ぶ対応力～
- 2 開催日時： 令和8年3月18日（水）14:00～16:00（受付開始13:30～）
- 3 開催場所： 三井住友海上神戸ビル 10階大会議室（神戸市中央区栄町通1-1-18）
- 4 主催者： 兵庫県・三井住友海上火災保険株式会社（兵庫支店）
- 5 研修内容：
  - (1) 防災専門家による特別講演  
「巨大災害に向き合うためには、私たちに必要な心構え（仮）」  
神戸学院大学現代社会学部社会防災学科  
教授 船木 伸江（研究分野：教育学【防災教育】）
  - (2) 「HIRAQ」を用いたグループワーク
  - (3) 「HIRAQ」実試を通じたグループ別発表（防災への気づき等）
  - (4) 船木教授によるグループ別発表への講評
- 6 募集対象： ①防災ジュニアリーダーほか防災・減災活動に関心のある高校生  
②地域防災や防災教育を学ぶ大学生・大学院生  
(①②全体で30名程度)
- 7 応募方法： <https://forms.office.com/r/8QNzgWK3DP> から申込【3月12日締切】
- 8 その他： セミナーは報道機関への公開を予定  
随行教員や事務担当者の傍聴可
- 9 問い合わせ先：  
兵庫県 企画部 SDGs推進課 公民連携班 大橋・前田  
TEL：078-362-3892 E-mail: [renkei@pref.hyogo.lg.jp](mailto:renkei@pref.hyogo.lg.jp)



# 体験型防災教育コンテンツ「HIRAQ(ヒラク)」

ページを「ひらい」て、「Q (問い)」に向き合う中で、窮地を切り「ひらく」力を身につける

2025年3月11日に三井住友海上火災保険㈱がリリースした最新防災教育コンテンツです



現実には起こりうる3つの被災の【ケース】をシナリオ化



CASE 帰宅困難

CASE 緊急避難

CASE 避難所生活

## CASE 帰宅困難



**【友達とのお出かけ帰りに一人被災！家族と再会できるのか？】**

- Q1：駅周辺にとどまる？歩いて帰る？
- Q2：スマホで情報収集 駅周辺にとどまる？歩いて帰る？
- Q3：周りの人から情報収集 駅周辺にとどまる？歩いて帰る？

## CASE 緊急避難



**【大雨で逃げ込んだ先で孤立！限られたリソースでサバイブできるか？】**

- Q1：帰れない！みんなの今夜の食べ物、どう確保する？
- Q2：避難者の事情を聞いて、もう一度食べ物の分け方を考えよう！
- Q3：みんなの安否をどう知らせる？

## CASE 避難所生活



**【居場所がない！生き延びたみんなの心身を守れるか？】**

- Q1：「子どもの遊び場」どこに作るのがベストかな？
- Q2：みんなに使ってもらえるスペースにするために、アイデアを考えよう！
- Q3：住人のお困りを解決するアイデアを考えよう

【CASE 避難所生活】イメージ

ターゲット・活用シーン

- ターゲット : 中高生以上を推奨
- 活用シーン : 中学校・高校での授業 (ワークショップ) ・地域イベント (例 : 防災イベント 等)

コンテンツ概要

- プレイ人数 : 3~6名推奨
- 所用時間 : 30分程度 (ディスカッション時間によって調整可能です)
- 構成物 : 説明書、ゲームシート本体、サイコロ、舞台MAP、ベストアイデアシート、ヒント集
- 内容 : 参加するプレイヤーは、具体的な被災シチュエーションの中で突きつけられる3つの「Q (問い)」に  
向きあい、様々な情報やヒントを元に仲間と共にディスカッションし、解決策を考える。  
(被災シチュエーション別に3種類のご用意があります。)
- 特徴 : 特別な防災知識を持つファシリテーターがいなくても実施可能 (別途、運営要領あり)

開発パートナー

- 制作協力 : 株式会社NHKエデュケーショナル、京都大学防災研究所 矢守 克也教授

(取組風景)



出典 : 学校法人新渡戸文化学園での授業 (三井住友海上火災保険(株)プレス資料)

神戸地区県立学校第2回防災教育研修会での教員による実試(R7.11.7) 県主催